

四日市大学に出かけよう 「身近な里山の現状」

- 竹林の中を歩いてみよう
- 里山保全講座(矢口苜枝先生、橋本幸彦先生)
 - ・四日市の自然(里山編)
 - ・どれだけ知ってる? 鈴鹿山脈の野生動物
 - ・野生動物と人間はなかよくできる?
- 大学生との交流(アクアリウムづくりなど)
- 竹でっぼうで水遊び、流しそうめん体験

感想

「竹でっぼうがたのしかった。アクアリウムづくりもたのしかった。ながしそうめんを食べすぎた。(四日市大学の渡辺先生の) はなしはむずかしかった。でも映像クイズは、10もんせいかいできてうれしかった。」

「竹で作った水鉄砲はびしょ濡れになって遊んで楽しかったです。流しソーメンはずっとやってみたいと思ってすごく楽しみにしていました。流れが思ったより早くて食べるのが大変だったけど、お腹一杯食べられて嬉しかった。」

「水鉄砲は遠くに飛ばそうとしたけど、なかなか飛ばなくて難しかったです。流しソーメンは最初15分間と聞き、短く思っていたけど始めるとたくさんソーメンが流れてきて時間内に一杯食べることができてお腹一杯になりました。」

「流しソーメンは初体験で、美味しくお腹も一杯になりとても満々でした。本物の竹で出来た流しソーメンもなかなか家では体験出来ないのが貴重な体験になった。」

「橋本先生の最後のお話で、熊が人間を見て逃げていく映像、人間にできれば関わりたくないと思っている様子が印象的でした。そんな野生動物をできるだけ傷つけず、共存する道があればいいと強く思いました。自分達にできること、人間の食べ物の味を野生動物に覚えさせないように、自然の中にゴミを放置しないことを、これからは動物たちのためにも実践していきたいです。」

「食堂内の生き物クイズでは、意外なものが外来種だったりして、勉強になりました。」

「里山は、どんどん人間の優先場所が増えて、野生動物との共存が難しくなっていることを感じました。」

「暑すぎたり、激しい雨が降ったりと、最近特に自然環境が厳しくなって人間だけでなく、様々な生き物が影響を受けているだろうと思いました。そんな中で、未来にむかって自然環境を整えていく必要性を感じました。」



8月5日四日市大学 (79)



